

## ベルマーク新聞 12月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## 待ちに待った!一輪車講習会が再開

静岡・浜松市立熊小 / 岐阜・高山市立本郷小



①②③静岡・浜松市立熊小で ④岐阜・高山市立本郷小で

ベルマーク財団のへき地支援ソフト事業、一輪車講習会が今秋、再開しました。昨年度はコロナ禍のため全面中止となりましたが、感染対策を十分に取って再スタートしました。

第1回目は11月8日、静岡県浜松市立熊小(西田亮校長、児童13人)。本来は7月の予定が大雨で延期になり、待ちに待った開催です。熊小は一輪車が「校技」で、体育の授業でも採り入れています。独自の検定もあり、子どもたちが切磋琢磨して一輪車を楽しんでいるそうです。

インストラクターは静岡市からやって

来た長坂綾さんと、瀧口夏緒さん。いろいろな賞をとっている一輪車のエキスパートです。2人の模範演技に続いて、子どもたちが、明るく元気な音楽に合わせて日ごろの成果を披露しました。「みんなとても上手。きょう指導でやろうと思っていたことが全部できているのでしよう」と、長坂さんは笑顔でちょっと困り顔。子どもたちの笑顔も弾けます。

そのあとは「バック」「アイドリング」「スピン」の3つに分かれて教わりました。最後に児童を代表して6年生の森下祐花さんが「一輪車が楽しく乗れました。教えてくれてありがとうございます

た」とあいさつしました。

11月22日には岐阜県高山市立本郷小学校(可児慎吾校長、児童58人)で一輪車講習会が開かれました。一輪車は初めての子どもたちが多い中、可児校長は「この講習会で一輪車をもっと盛んになってくれれば」といいます。

講師は佐藤彩香さんと高田朝日さん。ともに世界大会などで優勝や上位入賞を数多く経験した第一人者です。華麗な模範演技にみんなうっとり見とれた後、1～3年生と4～6年生に分かれ、1時間弱ずつの実技指導に入ります。

一輪車の調整と乗り方を教わり、体育

館の壁伝いに、補助してもらいながらゆっくりと進む練習を繰り返しました。少し乗れるようになった子は「難しかったけれど、少しできてよかった」。

講師の2人は「みんな練習に飽きずに、終わりまで真剣に取り組んでいたことが印象的でした」と話しました。

みなさん、  
頑張りましたね!!



## ベルマーク持参でスナッグゴルフ

兵庫県三木市で西日本の大会

ベルマーク財団が後援するスナッグゴルフの全国大会が11月20日、兵庫県三木市の三木ゴルフ倶楽部で開催され、小学生104人が参加しました。会場にはベルマークのブースが設けられ、選手や保護者がマークを持参。三木市提供の箱入りの爪切りと交換しました。ちなみに三木市はベルマーク収集にも力を入れています。この日集まった2400点余は財団に寄贈され、困っている学校の支援に役立てられます。

大会名は一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)などが主催する「第18回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会in三木市」。コロナ対策で東西分割となった西日本大会です。21の小学校チームと、プロゴルファー7人の「JGTOドリームチーム」が競い合った結果、東広島市立三ツ城小学校が優勝。キャプテンの中谷菜摘さん(6年)は「見守ってくれた監督、コーチ、



保護者のみなさんのおかげです」と話しました。2位は東広島市立東西条小学校、3位は沖縄県伊江村立西小学校でした。プロのドリームチームは1打差で残念ながら優勝チームには及びませんでした。

## 大使から感謝状

福岡市立姪浜中の生徒会に

福岡市立姪浜中学校(田上健二校長、生徒920人)の生徒会に11月17日、ベルマーク大使の脇川雅之さんから感謝状が贈られました。コロナ禍の中、校長の提案で昨秋から生徒会活動としてベルマーク収集のボランティアに取り組み、約1万5000点を集めて財団に寄贈したのです。脇川さんは資料提供などで協力しました。

受け取ったのは第75期生徒会の青木太希会長。「ベルマークを通して、全校生徒が一つの目的に取り組むことができました。この経験を今後に生かしたいと思えます」と振り返りました。



# マイナス196度、超低温の変化を体験

## 岐阜・下呂市立馬瀬小で理科実験教室

全国的に有名な岐阜県・下呂温泉の山向こうにある下呂市馬瀬地区は、日本のほぼ中央、南飛驒の山間を流れる馬瀬川沿いに、集落がつながっています。古くから鮎釣りの名所としても知られています。

そこにある市立馬瀬小学校(松井健治校長、児童31人)で10月27日、ベルマーク財団によるへき地校支援のソフト事業、理科実験教室が開かれました。長くコロナ禍が続く中、今年度は初めての理科実験教室です。講師はNPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会(華井章裕代表)の6人。華井さんは以前、理科教師として下呂市内の高校に勤務した経験があるそうです。

全校生徒を前に、揃いの黄色のポロシャツと緑のエプロンを身につけた華井さんたちは、子どもたちに向かって空中で割れる風船を飛ばしたり、コップからこぼれない水や、手のひらの上で一瞬燃えるけど熱くない火を体験させたりと、手品のような実験を次々と披露していき

ました。

続いて、マイナス196度という超低温の液体窒素を用いた本格的な実験にとりかかります。「いろんなものを凍らせてみたらどうなるのかな? 好奇心が大事です」と華井さん。風船を入れたら、中にあった酸素や二酸化炭素はどうなる? バナナやティッシュペーパーは凍る? そして、子どもたちがそれぞれ持ち寄った野菜やお花は? みんな興味津々な表情で超低温による変化を見つめました。

後半はワークショップ。みんなで「キラキラ万華鏡」を作ります。エジソンの会の方々や先生たちの助けを借りながら一生懸命に取り組みました。

教室の終わりに児童代表が「今日はみんなでたくさんのお礼の言葉を述べました。これからも楽しみながら、理科に興味をもってもらいたいです」と話しました。



④風船の手品?

⑤⑥液体窒素で凍らせてみよう ⑦⑧キラキラ万華鏡づくり

# 児童も協力して500万点達成

## 神奈川・茅ヶ崎市立松浪小



④左からベルマーク担当の久米麻里子さん、PTA会長の日野聖美さん、500万点達成の感謝状を持つ安倍武雄校長、昨年度PTA副会長の高橋容子さん、ベルマーク担当の市間敦子さん

⑥購入したモニターは各教室に配備されているものより画面が大きく、学習内容が伝わりやすくなったそう



神奈川県の茅ヶ崎市立松浪小学校(安倍武雄校長、児童980人)の累計集票点数が今年4月、500万点を超えました。活動はPTAが担い、着実に点数を積み上げてきました。しかし今回、達成直前に8万点もの点数を積み上げたのは子どもたちでした。

ベルマーク活動をリードしたのは昨年度の5年5組。きっかけは担任だった萩尾雅貴先生が授業でSDGs(持続可能な開発目標)を取り上げ、「松浪小をもっとよい学校にすることはSDGsにつながる」という結論に子どもたちがたどり着いたことでした。そこで、SDGsの「誰一人取り残さない」という原則に従い、「松浪小の児童全員のためになる活動」を考えることになったのです。

学校の現状を調べると、PTAのベルマーク活動が、コロナ禍の影響で思うように出来ていないことが分かりました。そこで、クラス内でのベルマーク収集を始めましたが、クラスの約30人だけだと、期待したほど多くのベルマークが集まりません。そこから、学校全体での収集という大きな試みが始まりました。

宣伝のためのCM制作やベルマークポスト設置にあたっては、子どもたち自身で学校長に許可を取りました。ポストは各クラスに置かれていましたが、それを集約して新たにデザインしたものを昇降口など校内6カ所に置きました。集まっ

たベルマークは、休み時間や放課後も使いながら仕分けました。今回集まった点数と、これまで貯まっていたベルマーク、回収箱に貯まっていたテトラパックも合わせて、合計で8万3252点。財団への発送の準備も自分たちの手で行いました。

子どもたちの活動を見守っていた保護者と先生方は早速子どもたちに還元しよう話し合い、55型モニターとモニター台の購入を決めました。

今は6年生になっている子どもたちに、活動を振り返ってもらいました。歳常夏梨さんは「先生と交渉したり、文章を考えたりすることが難しかった」。でも、こうした活動で子どもたちは鍛えられていったようです。畑中爽甫さんは「宣伝する力が身に付いた。この力は委員会活動にも応用できそう」と語ります。

神保桃さんは、「これまでは捨てちゃうこともあったベルマークも、みんなで集めるとモニターが買えるほどにまでなることに驚きました」、下川蓮太郎さんは「身近な商品にベルマークが付いたり、普段飲んでいるものがテトラパックだったり、新しい発見が出来ました」。また、鷹司雅教さんは「ベルマークを数えることは楽しく、終わると達成感を味わえました」と感想を教えてくださいました。

# 「次はグランドピアノを」

## ベルコン2020佳作 兵庫・芦屋市立山手小



④左から秋本孝幸教頭、俵原正仁校長、家庭科の村岡宏美先生

⑥前列左から長田知子さん、小野奈苗さん、眞竹淳子さん、後列左から上月弥生さん、高橋早乃さん



兵庫県の芦屋市立山手小学校(俵原正仁校長、児童655人)は、昨年度のベルマーク便りコンクールの佳作校。でも新型コロナウイルスの影響で、取材の約束が何度も延期に。全国的に感染が下火になった今年11月、「5度目の正直」として、ようやく取材が実現しました。

受賞した2020年度にPTA役員だった方々が集まってくれました。コロナ禍が広がっていった時期でしたが、当時会長だった小野奈苗さんは「色々な活動をカットしたけれど、中でもベルマークは大切な活動なので、継続しました」と話してくれました。

お便りには「ミシンGET★大作戦」と称し、ベルマークでミシンを6台買ったことが報告されていました。「新しく買ったミシンは、子どもたちの間でも取り合いになっています」と家庭科の村岡宏美先生。保護者にとっても、普段のべ

ルマーク活動がどう実を結んだのかははっきり伝わるという効果があったようです。次の目標は、なんとグランドピアノ。「夢のバトンをつなげよう」を合言葉に、200万点を目指すと宣言し、いまま活動中です。

現在PTA会長の上月弥生さんは、昨年度の庶務から続けて役員を務めています。「ベルマークに関わって、こんなに夢のある活動だと初めて知りました」。子どもたちがミシンを使い続け、さらに未来にはグランドピアノ……。今の人同士をつなげるヨコ方向に加え、時間を越えたタテの繋がりも生まれていく。「タテもヨコも広がる運動ですね」と話しました。

山手小は給食がとておいしいです。市として給食に力を入れており、2022年春には「あしやのきゅうしょく」という映画も公開されます。そのロケ地の学校は山手小なのだそう。

## 東芝ライフスタイル 「LED ランタン」発売

協賛会社の東芝ライフスタイル(ベルマーク番号43)が単3形乾電池3本で使える「LED ランタン」を発売しました。明るさは最小約6ルーメンから最大約200ルーメンまで無段階で調整することができます。光の色は利用シーンによって選べる白色と電球色です。玄関ではぱっと明るく、就寝時は優しい光、と

使い分けられる優れたものです。

さらに人感・明暗センサーもついているため、暗い場所で人の動きを察知して自動的に点灯してくれます。防水仕様で、レジャーや非常時、玄関でも活躍します。

▽LEDランタン LKL-4000 ベルマーク29点(オープン価格)



# 3000人に協力を呼びかけ収集

## キューアンドエー株式会社が仕分け済みマークを財団に寄贈

コールセンターの運営やICT（情報通信技術）のテクニカルサポート事業などを全国で展開するキューアンドエー株式会社（川田哲男社長、本社・東京都渋谷区）が、グループ会社とともに集めたベルマーク約7000点をベルマーク財団に寄贈しました。

同社は社会貢献活動のひとつとして2017年からベルマーク収集に取り組んでいます。今回届いたベルマークは、昨年8月から今年9月までの1年間に集めました。CSRに関する活動・広報業務を担う広報部が、グループ会社を含む約3000人の従業員や、親会社であるNEC ネットエスアイにも協力を呼びかけ、大きな組織が一体となって取り組みました。

休憩室や執務室、自動販売機の横などに回収箱を置き、社内ネットや社内報で周知しました。広報部から全社へ送信するメールには、ベルマーク商品の紹介をフッターに記載し、社員に意識してもらえよう心掛けました。さらに各事業拠点では独自の「ベルマーク大使」を任命。参加の呼びかけをお願いして士気を高めました。

活動に賛同した親会社のNEC ネットエスアイからも多くのベルマークが届きました。現在テレワークが中心で働く従業員も多い中、自宅で仕分けまで済ませてくれた方もいたようです。

仕分け・集計は、広報部と、同社のハピネス推進室か



⑥仕分けには紙コップを活用。BGMをかけながら和やかな雰囲気で作業が行われた ⑦⑧仕切り板を使ってコロナ対策もばっちり ⑨⑩会話を楽しむ時間もあった一方、無言で黙々と仕分けに集中した時間もあり、メリハリを意識したそう



ら集まった5人が担当しました。ハピネス推進室は従業員内の「幸福度」を高めるために昨年4月に設置された組織です。5人は、2日間の作業日を定め、集中的に取り組みました。

広報部の大野香穂里さんは、ベルマーク収集について「生活の中で、ちょっと意識するだけで出来る活動」と

表現します。さらに、「『ボランティア活動をするぞ』と構えることなく、コロナ禍であっても活動が続けられる」ことが、活動を継続できている理由だと分析しています。

今後の展望について、「誰かひとりが頑張るのではなく、従業員全員の意識を少しずつ高めることで、子どもたちへの支援につなげたい」と話してくれました。

# 全へき連大会、宮崎でリアル開催

## 公開授業はオンラインで配信

山間部や離島など都会から離れた地域の教育の在り方を研究し、当地の教育振興をはかる「全国へき地教育研究連盟」（全へき連）主催の全国大会（宮崎大会）が10月28、29の両日、宮崎県内の10会場で開かれました。コロナ禍の中、2年ぶりのリアル開催で、70回目の記念大会です。開会式や基調報告、記念講演を宮崎市民文化ホールで開く一方、ブロックごとの発表会や公開授業は現地の学校などからオンライン配信で行う、初めての「ハイブリッド型大会」でした。

開会あいさつの後、「夢を夢で終わらせない」と題して、競泳五輪メダリストの松田丈志選手を育てた熊本出身の元日本代表コーチ・久世由美子さんが記念講演。「選手の強化だけでなく、挨拶や返事、感謝の気持ちを大切に指導することで、息の長い選手に育ってほしかった」などと話しました。さらに基調報告があり、午後からは課題別分散会で全国12の小中学校の研究成果が発表されました。

北海道のえりも町立東洋小学校の発表では、児童が主体的に考えをもつために必要な時間の工夫などについて報告・討議が行われました。ここでは問い返しのむつかしさや少人数学級での学力格差、

異学年交流について、チャットによる質問も受け付けながら活発に議論が行われました。

また、長崎県の対馬市立乙宮小学校の発表では、「乙宮スタイル」と呼んでいる、主体的な学びの仕掛けづくりや児童同士で学び合う間接指導の設定などが紹介され、議論が進みました。

2日目は、宮崎県内8つの小中学校の公開授業があり、オンラインで配信されました。

五ヶ瀬町立三ヶ所小学校は職員児童合わせて約80人。オンライン配信では6年生の総合的学習などを公開授業しました。五ヶ瀬のふるさと五ヶ瀬の魅力に関心をもってもらい、自らが地域に貢献しようとする態度を養うことなどを目的にした授業です。

算数の授業を行った延岡市立方財小学校は、学習内容に応じたアウトプットの仕方を研究。自分のことばで説明したり、友達の意見も生かしながら自分の考えを再整理したりして説明できるかといった「アウトプット」の授業が展開されました。

全へき連の全国大会は来年、山形県での開催を予定しています。



⑤宮崎・五ヶ瀬町立三ヶ所小 ⑥宮崎・延岡市立方財小（いずれもオンライン配信）



# 特別支援学校にベルマーク寄贈

## キリンビバレッジの神奈川キャンペーン

協賛会社キリンビバレッジ（ベルマーク番号54）は、神奈川県で店舗展開する流通企業4社と実施したキャンペーンでベルマーク約3万点を集め、ベルマーク財団を通じて横浜市立本郷特別支援学校（中嶋浩一校長、児童生徒169人）に寄贈しました。

同社首都圏地区本部横浜支社の佐藤栄二支社長が11月16日、ベルマーク財団を訪れ、財団の小野高道常務理事に3万990点のベルマークを手渡しました。キャンペーンは三和、ビッグ・ライズ、京急ストア、相鉄ローゼンの4社とキリンビバレッジが5～6月に実施し、応募総数は4809通でした。小野理事は4社への感謝状を佐藤支社長に託しました。

寄贈先選ばれた本郷特別支援学校の中嶋校長は「ありがとうございます。みんなで使い道を考えてみます」と喜びを語ってくれました。



左からベルマーク財団の岡部敦郎事務局長、同小野高道常務理事、キリンビバレッジの佐藤栄二横浜支社長、同営業企画部の高橋渉主任

# 全国の31事業所でマーク収集

## ニチレイが4回目のマーク寄贈

協賛会社のニチレイ（ベルマーク番号88）が、グループ会社を含む全国の31事業所で集めた1万121点のベルマークを財団に寄贈しました。協賛会社になった2017年4月以来、毎年マークを集めて寄贈しており、これが4回目となります。

人事総務部総務・渉外グループの上野恭明さんと富田幸世さんが11月4日、ベルマーク財団を訪れ、1年間集めたベルマークを手渡してくれました。同社は各事業所に回収箱を設置し、いつでも収集に取り組める環境を作っています。「見えやすい場所に回収箱を置き、異動してきた人でもマークを集めていることがすぐ分かるようにしている事業所もありま

す」と話すのは富田さん。上野さんは「引き続き回収に協力してもらえよう、社内周知に力を入れていきたい」と目標を語ってくれました。



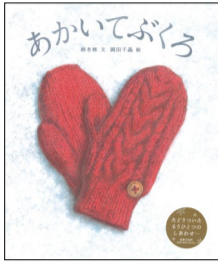
右からニチレイの富田幸世さん、上野恭明さん、財団の小野高道常務理事

# 読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

## 絵本

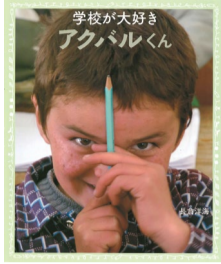
『あかいてぶくろ』(林木林・文、岡田千晶・絵、小峰書店)

お母さんが編んでくれた赤い毛糸の手ぶくろ。いつも一緒だった手ぶくろの、右手の方を落してしまいました。それを拾ったのはきつねでしたが、次にうさぎ、のねずみの手に渡ります。お母さんはもう一度右の手ぶくろを編んでくれたのですが、ラストでその手ぶくろたちが会います。詩人でもある作者(はやし・きりんと読みます)のふんわりとした文章も手伝って、文字通り、温かくなる絵本でした。(低学年以上向き、1600円+税)



『学校が大好き アクバルくん』(長倉洋海・写真・文、アリス館)

長倉さんの写真絵本は、これまでも紹介したことがありますが、今回の舞台はアフガニスタン北東部の山の中の小学校。一年生のアクバル君の一日を追っています。一年生は16人で、半数近くは女の子、先生も女性です。外国人である写真家が、どうやってこんな〈日常〉の子どもたちの表情が撮れるのだろう、とってしまっています。そして、アクバル君たちが無事に勉強を続けられることを願わずにはいられません。(低学年から、1400円+税)



たのです。書き進められるごとに渡されるひまりのノートは、まゆにとっては親友の再発見の記録でした。

著者は現役の小児科医で、発達障がいについて考えさせられる本であることは確かですが、ひまりと真由の人物像がそれぞれに魅力的で、二人の友情物語として心に迫ってきます。(高学年向き、1300円+税)

『りぼんちゃん』(村上雅都・作、フレール館)

こちら6年生の二人の女の子をめぐる物語で、「心内ファンタジー」とでもいった、不思議な持ち味の作品です。朱里はクラスで一番身長が低くて、女の子たちから「朱ちゃん」などと呼ばれ、良くいえばマスコットの存在。6年生になって転校してきた理緒だけは朱里を「染岡さん」と呼んでくれ、二人は行動を共にするようになります。朱里には『魔法使いのアルペジオ』という愛読書があり、読んでいて疑問に思ったことなどを考える、秘密のしかけがありました。それはあかずきんちゃんが出てくる想像の世界に入り込んで、そこでおばあさんとの対話で疑問を深めていくのです。理緒と一緒にいったマーケットで店員にどなっている男の人を見かけ、その時から朱里の心の世界にオオカミが登場するようになります。やがて、その男が実は理緒の父親だったことが分かり、理緒が抱えていた問題が浮かび上がってきます。



子どもめぐる〈現実〉と、子どもの心で起こっている〈現実〉との不思議な関係性を感じさせてくれる、若い作者のユニークな作品でした。(高学年以上向き、

1400円+税)

## 低・中学年向け

『ねこのふくびき』(木内南緒・作、よしむらめぐ・絵、岩崎書店)

学校に向かう途中、みゆに声をかけてきた男の子、「ぼく、ルークだよ」というのです。ルークはみゆの家の飼い猫です。そんなはずはないと思うみゆですが、よく見るとほっぺにうすすら猫のひげ。猫の町のふくびきで一等賞に当たり、変身できたのだといいます。学校についてきたルークを、なぜか校長先生は教室に入れてくれます。ルークの飛び入りでいつもの教室が違って見えるみゆに、読者の子どもたちも共感できるのではないのでしょうか。(低学年向き、1100円+税)



『マイロのスケッチブック』(マット・デラ・ペーニャ作、クリスチャン・ロビンソン絵、石津ちひろ・訳、すずき出版)

マイロとお姉ちゃんが電車に乗る場面から始まります。毎月第一日曜日、二人は出かけるのです。「そのたびに、どうしようもないくらい きんちょうしてしまう」マイロ。緊張を解くために、電車に乗っている人たちをスケッチします。ジャケットを着てナイキのシューズをはいた男の子の絵は、王子様の絵になりました。電車から降り、列に並ぶと、さっきの男の子が列の前方にいたのでびっくり。その列は刑務所で面会を待つ列だったのです(「刑務所」という言葉は出てきませんが)。日本ではまずありえない設定ですが、絵本としてとてもしっかりくることにも驚かされました。(低学年から、1500円+税)



## 高学年・中学生以上向き

『ひまりのすてき時間割』(井嶋敦子・作、丸山ゆき・絵、童心社)

ひまりと真由、幼馴染みにして同級生の二人の6年生が物語の中心です。朝の登校時、真由は表紙に「ひまりのすてき時間割」と書かれたノートを渡されます。ひまりが自分の一日のスケジュールをまとめようとしたもので、この日書かれていたのは「はじめに」の部分だけ。その中で、かかりつけの和子先生に改めて診断してもらい、過集中、多動などの症状を伴うADHDと診断されたことが明かされました。何かに夢中になると他のことが耳に入らなくなるひまりの姿は真由には見慣れたものですが、それを障がいと思ったことはありません。ただ、ひまりはむしろそれを前向きに受けとめて、この機会に、自分の一日の過ごし方を整理して、トラブルを少なくしようとしてい



『命を救う 心を救う』(ふじもとみさと・文、佼成出版社)

ミャンマーを中心に、貧しくて治療を受けられない子どもたちの治療に25年以上あたってきた吉岡秀人さんの歩みを追ったノンフィクション。30歳で単身ミャンマーに乗りこんだものの、あまりの条件の悪さや、医師としての経験不足を痛感し、しかしそこから再び日本で研鑽を積み、改めて医療活動を開始した吉岡さん。それを支えるNPOジャパンハートを立ち上げた組織力と共に、吉岡医師の歩みは、「一人で何ができるのか」という問いに答を出し続けている人のありようとして、確かに読者の胸に響いてくると感じました。(中学年以上向き、1500円+税)



## ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈マーク寄贈者〉 10月21日～11月20日  
▼北海道 ダイイチ・北雄ラッキー・ホクレン・コープさっぽろ・北海道キリンビバレッジ  
中村和子 杉村美穂 橋本和子 太田撰子  
小渡利恵子 佐々木香織 新山禮子 道藤信代  
匿名希望 ▼青森県 梅田統子▼岩手県 匿名希望▼宮城県 昆野由香 杉山淳子 中川美穂子▼秋田県 ユナイトHD よねや▼山形県 奥山俊 伊藤智子 内山幸江 樋口建設(株) ヤマザワ▼福島県 ヨークベニマル▼茨城県 大野祥希 じゃんじょ改 山田章子 萩谷勝美 高塚浩 豊島敏子▼栃木県 佐藤弥生 長岡花恵 大塚正志 高松宏美▼群馬県 損害保険ジャパン(株)群馬支店 今井理永 スウィング館林 スイミングスクール 匿名希望▼埼玉県 笹本理恵 井坂八重 関根久子 田口飛翔 富山一成 古峰聡美 神谷千鶴子 飯山綾 貝塚香代子 山崎 渋谷星 ダイトゴム(株) 匿名希望▼千葉県 横山郁子 菱木七海 森靖之 八木原直江 山本清美 ヤックス 小倉ゆり子 高村光太郎連翹志運営委員会 匿名希望▼東京都 阿部具子 アンジェラ 市川佳世子 伊藤千鶴子 井上綾子 枝村圭一郎 (株)トリリオン (株)メンテックカンザイ東京支店 ジャパン収集ボランティア倶楽部 城宮寺 寺田真人 長瀬賀世 長谷川徳子 福間直子 藤島暁 藤本三原博 柳原典子 吉井幸子 市野谷子 パンプリントユニオン 青木美穂 板垣 金山弘樹 (株)明電舎 久保田明美 さうらべ 塩野誉子 太刀川忠良 忠鉢奈穂 鶴山英己 中田靖子 日本基督教団小金井緑町教会 日本生命保

険相互会社首都圏財務部 橋本昭子 藤木まゆみ 水藤順子 宮田久美子 (有)光洋 吉田雅子 イトヨーカドー いなげや 西友 東武ストア 岩井 岩松純子 大山隆 日本基督教団 目白教会 星野一樹 望月徳子 望月幸美 近畿日本ツーリスト労組 匿名希望▼神奈川県 アイスター商事代理店前川敏子 梅川紀子 加藤美和 坂巻順子 山東彰子 田邊ナオミ 山本恵子 和田俊子 石川ひとみ 大館純子 小笠原清美 工藤明美 佐藤俊夫 鈴木美祐子 高橋琴枝 石黒琢一郎 三和・フードワン・食品館あおば・相鉄ローゼン・京急ストア 神奈川県民共済生活協同組合 中村美佐保 牧田知与 渡会恵 匿名希望▼新潟県 深澤悦子 地域密着型複合施設わしま ヴオロク 原信ナルス▼富山県 銀の車輪▼石川県 嶋口和恵 北野佐和子▼福井県 ヤスサキ▼山梨県 長谷川圭子▼長野県 宮下隆 溝田恵美 村井孝至 滝沢陽子 藤井昭子 (有)ヤマ楽器▼岐阜県 岐阜県 JA ビジネスサポート(株) 佐藤澄子 加藤ひさ子 杉原美恵子 匿名希望▼静岡県 アイスター商事代理店西尾悦子 全矢崎化工労働組合 福島愛子 村田正弘 青谷紗千子 塚口 島中将也 アイスター商事代理店杉山美千子 杏林堂 食鮮館タイヨー 大塚京子 (株)遠州急行 匿名希望▼愛知県 奥村裕子 尾深なべ子 ペットサロンbb 宮野清恵 愛知県社協地域福祉部ボランティアセンター 豊田市立藤岡中 ヨシツヤ 大野章一 中村弘美 阪堂淳子 ▼三重県 上山恵 殿林千鈴 藤森澄子 アイスター商事代理店川口節子 匿名希望▼京都府

小田哲司 諏訪和子 匿名希望▼大阪府 城村玲子 プリズトンタイヤサービス西日本(株) タイヤサービス港店 岩崎多美子 (株)ドコモ CS 大阪端末センター一同 Y.T 川村早苗 桑原優 中井純子 山西 大場さやか 笠谷颯大 (株)浜一 西山淑子 井本信子 小山弥優 匿名希望▼兵庫県 加藤由加里 コープこうべ第1地区本部塚口事務所 三和学 萩野智子 高見雅美 吉田崇規 匿名希望▼奈良県 杉井順子 吉川▼和歌山県 佐武次郎▼鳥取県 永原千恵 澤村恭子▼岡山県 鳥越多美子 横溝弓子▼広島県 広島なぎさ中・高ボランティア部 前原典子 岡野真紀 佐藤玲 匿名希望▼山口県 岡本純子 山本恭子▼香川県 大石敬子▼高知県 匿名希望▼福岡県 井口喜代子 日本生命保険相互会社福岡サービス課 阿多加代子 武田綾奈 野中久子 藤野悦子 宮田徹 (株)F.T エンジニアリング 北野陽子 久留米市立京町小運管委員会 全労済労組九州支部 大京ユニット九州エリア▼佐賀県 佐賀県立香橋中 JRC 委員会▼長崎県 浦園喜美子▼熊本県 牧山健二 岩本峰子▼大分県 イノウエヨシオ 嶋崎光平▼宮崎県 長友純子▼沖縄県 新本明美▼西田 美少女戦士セーラームーン▼無記名=80件

〈友愛援助申し込み〉 11月1日～11月30日  
◆群馬県 第一中(伊勢崎市) ◆広島県 広島西特別支援学校(大竹市)

## 大台達成校

11月		
伊島小	岡山市北区	8,006,407
和田小	福井市	7,019,699
本庄中	神戸市東灘区	7,056,308
郡山南小	奈良県大和郡山市	6,026,152
八戸の里小	大阪府東大阪市	5,007,119
上条小	愛知県春日井市	4,006,330
大谷口小	さいたま市南区	3,029,112
鬼高小	千葉県市川市	3,042,134
平岡北小	兵庫県加古川市	3,013,238
岩沼南こぼと幼稚園	宮城県岩沼市	2,011,645
湯野小	福島市	2,007,480
神根東小	埼玉県川口市	2,003,293
みずほ小	神奈川県平塚市	2,025,333
村岡小	福井県勝山市	2,017,594
芝沢小	長野県松本市	2,034,163
南向台小	福島市	1,013,235
都和小	茨城県土浦市	1,014,209
追分小	浜松市中区	1,014,003
多賀小	京都府井手町	1,002,216